



2019.5月号

通知表を見よう

新年度を迎え、色々な行事を経て、自分がどのくらい学習に励んだかがわかるのが通知表。みなさんはどのように通知表がつけられているのか知っていますか？今回は通知表の評価基準とポイントについて紹介します。

【評価は4つの観点で決まる】

通知表は、各都道府県によって異なりますが、ほとんどは4つの観点をもとに評価されます。4つの観点と評価ポイントを知ること、自分の課題を見つけて、日々の取り組みを改善し、成績アップにつなげることができます。4つの観点をご紹介しますので、まずは自分でチェックしてみましょう。

- ①『関心・意欲・態度』 評価対象：提出物、授業態度、時事問題への関心等
 - 期日までに充実した内容の提出物を出している
 - 積極的に手を挙げるなど、意欲的に授業に参加している
 - 授業中の私語を慎んでいる
- ②『思考・判断』 評価対象：調べ学習、理由を問う問題等
 - 定期テストなどで考え方や理由を記述させる問題が解ける
 - 調べ学習などは自分なりに資料をよく探し、まとめられる
- ③『技能・表現』 評価対象：ノートまとめ、資料を読み取る等
 - ノートまとめは写すだけではなく、自分なりにまとめられている
 - 資料などを読み取るときは、複数の資料を見て、内容を把握したり整理できている
- ④『知識・理解』 評価対象：小テスト、定期テスト等
 - 目標点数を決め、計画的にテスト対策を行っている
 - 先生が大切！といった部分は聞き逃さずにノートに書いている
 - 学校で配られたプリントや資料は整理して保管している



【小・中・高の通知表の違いを知っておきましょう】

学年が上がるにつれて通知表の意味や見方が変わってきます。それぞれの違いをおさえておきましょう。

『小学生』 評価がとてもしっかりと細かく生徒の力を入れた部分がよくわかります。

◎の数が多いからと言って油断せず、次の学期でも続けていきましょう。○や△を確認しましょう。特に△は次の学期への目標となりますので教室長と相談して学習の仕方を工夫しましょう。

『中学生』 高校入試にも絡むのでとても厳密に評価されます。

観点別の評価でA評価は自信を持って継続していきましょう。観点別評価がBの場合、その理由を振り返ってみましょう。各教科の不得意な部分が理解でき、次の学期への目標となり対策をたてやすくなります。

『高校生』 自己分析力が求められます。

数値のみの通知表です。学校によっては、5段階評価の基準表を合わせて渡してくれる高校もあるようです。そのため、その成績になった理由を自分で考え理解し次学期の目標を立てましょう。

明光義塾インフォメーションより一部抜粋

ゴールデンウィーク閉室について

以下の期間は、ゴールデンウィークのため、年間スケジュール通り閉室になります。

◆4月28日(日)～5月5日(日)◆

5月6日(月)は祝日ですが、通常授業実施日になります。お間違えの無いよう、お願い申し上げます。

受験・教育情報サイト

明光義塾が提供している「受験・教育情報サイト」をご存知でしょうか？

この情熱通信の3月号でも2020年の教育改革に向けての話を取り上げていますが、2020年度より、小学生が新指導学習要領を全面实施。2021年度より、中学生が全面实施。2022年度より、高校生が全面实施。そして、2024年度には、大学入学共通テストが本格実施されます。今年度は準備期間として移行措置がとられる期間になります。教科書以外にも冊子が渡され、追加された学習内容を実施することになります。

ここには書ききれないほどの内容が各学年で変更になります。

是非、「受験・教育情報サイト」で情報収集をしてください。



釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

学習面の日記①

皆さんは、今までの自分を振り返る事がありますか？ 私は中高と日記提出があり、今も日記が残っていますので、時折読み返しては初心に帰っています。

実は明光義塾には、学習面での日記が存在します。振り返りノート・マイスケジュール・パーフェクトブックという、入塾時にお渡ししている3点セットです。今回は振り返りノートについてお話をしたいと思います。

振り返りノートとは授業毎に学習内容を記録していくものです。直接お話しする時には「自分用の参考書にしよう」と伝えていますが、見返してみてもう一度。今の自分にも分かりやすく書いていますか？ あとで読んでもきちんと分かるようにまとめられているか、先生方とも確認してみてくださいね。

釧路春採SC教室 平山 由香利 Tel 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

大阪探訪記

私事ではありますが先日大阪へ行って参りました。仕事で行ったわけではなく完全にプライベートで人生初の大阪訪問を果たしてきた次第です。滞在時間は短いものでしたが、テレビやネットでしか見たことがなかった心齋橋や道頓堀を歩いている時に、東京とも札幌ともまったく雰囲気が違う雑踏に揉まれて感じた大阪の印象は「エネルギーに満ちていて、今までどこにも感じたことのない活気と熱気が溢れた街」それをとても羨ましく思いました。

以前より大阪へは気軽に行ける環境が整っています。あの得体の知れないパワーを再現するのは難しいかもしれませんが、釧路に漂う停滞感を払拭するには、私が勝手に感じただけではありますが、あの前向きに楽しいことを探し、失敗しても笑い飛ばして次行こう！的な活気と熱気を体感するべきです。

～私はP航空の回し者ではありません。～

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

情熱通信1周年

「釧路と中標津にある明光義塾共通のニュースレターを作ろう！」そんな話が出てきて、できた最初の情熱通信がちょうど1年前の5月号でした。一応、形式上は私、堀が校正を担当するということになり、これまで多くのコラムを読んできました。最初は「大変そうだな…」と感じたものの、やってみるとそれぞれ個性のあるコラム（時に面白く、時には熱い）が集まってきて、そうやっていろいろな文を読み編集するのが楽しくなってきました。

大変ありがたいことに、「情熱通信を毎月楽しみにしています」という声を聞くこともあります。そんなときには、ああ、やってよかったなと強く感じる次第です。何にしても、長く続けると良いことがあるものですね。これからも情熱通信をなにとぞよろしくお願いいたします。

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 中標津町東七条南7-8 2F

薄れゆく、若い人の独立起業志向

長年、ビル管理をなさってきた方から伺った話です。街の飲食業、バーやスナック。廃業率が高いのかと思いきやさほどでもなく、10年・20年と経営している方が多いとのこと。ただ、一方で心配なことがあって、独立を志す若い人が驚くほど減っているそうです。一昔前なら、「自分もやってみたい」「自分の店を持ちたい」と考える若い人が多かったものが、大幅に減ってしまったようで、（オーナー・経営者を見て）「あんな大変な思いをするのなら、雇われのままの方がいい…」と、独立を目指す若い人をトンと見かけなくなったそうです。ということで、これは行政書士業務（風俗営業許可申請）を通してお聞きしたわけですが、私教育の現場においても同じことを感じるわけです。子ども達、若い人から、独立志向が失われつつある。それ以前、働くことに対して「恐れ」を抱いている…。原因は、「大人の怪談話」でしょうか。やれ、働くことは大変だ。やれ、働くことは辛く悲しいことだ。子どもの頃からそんな話ばかりをずっと聞かされて育ったなら、そりゃ、そう思い込んだまま大人に育ってしまうものでしょう。勤労教育、職業観教育というものが以前にも増しておこなわれているものの、しかし独立志向が薄れつつあるのが実に気がかりです。私は二男一女の父親ですが、上の男の子二人には将来、独立起業を目指して欲しいと、心密かに願っています。（会社を継がせる気はありませんが。笑）小中高生向けの起業教育。それもまた、いつかはやってみたいと思っています。日本の将来のために、独立起業を志す若者を多く育てることが重要だと思う次第です。